

●凡例…**日**日時(日程)、**所**会場・場所、**内**内容、**人**対象・定員、**講**講師、**出**出演、**費**費用(記載の無い催しは無料)、**持**持ち物、**申**申し込み、**問**問い合わせ

# 市民のひろば

## 【丹波の朝採り有機野菜市】

**日** 8月2日(木)・8日(水)・29日(水)10時～  
**所** 所&園ワークホームつつじ・仁頃(☎22-7044)

## 【芦屋川探検隊】

**日** ①8月4日(土)②25日(土)10時～12時  
**所** ①市民センター付近②中央公園付近～国道2号まで  
**内** ①芦屋川のアユ観察会②宮川ジャブジャブウォーク **費** ①②各1,000円 **人** 小学生50人(要予約) **問** &園さんびいす(☎22-8896)

## 【10代のためのやすらぎの部屋】

**日** 8月4日・18日(土)13時～16時30分 **所** 図書館 **人** 10代のかた **問** ヨッシーくらぶ・守上(☎23-6854)

## 【グッドエイジングライフ塾】

**日** 8月5日・12日・19日・9月2日(日)14時～16時30分 **所** 市民センター会議室  
**内** 各テーマに沿った老後についての講座 **費** 500円(茶菓代含む) **問** &園シニア生活設計サポート結(☎31-8389)

## 【市民ハイキング】

**日** 8月5日(日)8時～ **所** 阪急芦屋川駅北広場集合→城山→岩梯子→荒地山→風吹岩→高座の滝 **費** 400円(交通費別) **持** 弁当・水筒・雨具 **問** &園芦屋登山会・田中(☎31-2626)

## 【「葦の風」フリーマーケット】

**日** 8月5日(日)10時～16時<雨天中止>  
**所** J R芦屋駅北側ペデストリアンデッキ **問** 葦の風・久堀(☎080-5301-0400)

## 【あしや喜楽苑ギャラリー】

**日** ①8月8日～19日②20日～31日(9時～17時※最終日は15時まで) **内** ①おのみどり・てづくり絵本展②河上隆子・旅の絵日記展 **所** &園あしや喜楽苑(☎34-9287)

## 【ミュージカル「アリスの森のなかまたち」に出演しませんか】

**内** 9月22日(土)に、ルナ・ホールで上演予定のミュージカル「アリスの森のなかまたち」に出演する小・中・高校生を募集しています。集中力と想像力を伸ばし、いきいきと自己表現してみませんか?  
**問** &園あおぞらドラマカンパニー「青空演劇くらぶ」・前田(☎32-5053/080-5365-6099)

## 【浜風の家 8月のイベント】

**日** ①8月9日(木)14時～15時15分②21日(火)13時30分～14時30分③31日(金)13時30分～14時30分 **内** ①心つながり詩と絵本の会②紙芝居ランド③子ども紙芝居大会 **問** 浜風の家(☎35-5700)

## 【ほんわかカフェ・おおはら】

**日** ①8月10日(金)②24日(金)10時～12時(①②とも) **内** ①折り紙で連獅子づくり②パッチワークのカードケースづくり **人** 先着20人 **費** ①150円(お茶代)②800円(材料費) **持** ②針・待ち針・はさみ・ゆびぬき **所** &園大原集会所協議会・今村(☎34-2364)

## 【母と子のいこいの部屋】

**日** 8月14日・21日・28日(火)10時～11時30分 **所** 図書館 **人** 0歳～未就園児と保護者 **問** パルーン・津田(☎32-2610)

## 【軍人墓地墓前祭】

**日** 8月15日(水)11時30分 **所** 芦屋霊園軍人墓地前 **内** 全国戦没者追悼式に併せて、墓前で追悼 **人** 軍人墓地所有者・一般遺族 **問** 遺族会・来田(☎23-3535)

## 【舞の研究会-伝統芸能 舞楽を知ろう】

**日** 8月18日(土)13時～ **所** フレンテホール(J R西宮駅南側) **内** 陵王など舞楽の実演 **問** 女人舞楽原笙会(☎23-1886)

## 【大和路の見学旅行】

**日** 8月22日(水)9時～18時 **所** 市民センター前に集合 **内** 富本憲吉記念館、法隆寺等の見学・講演 **人** 50人 **費** 5,000円(昼食含む) **問** &園富田碎花顕彰会・角野(☎090-8825-1292/FAX078-431-7974)

## 【コミュニティビジネスに関する相談会】

**日** 8月24日(金)13時～17時(要予約) **所** 子育て支援センターぶらっと **内** コミュニティビジネス等の相談会 **問** &園さんびいす(☎22-8896)

## 【芦屋書道くらぶ 10周年記念展】

**日** 8月24日(金)・25日(土)・26日(日)11時～19時※最終日は16時30分まで **所** 市民センター **問** 権野(☎078-411-2539)

## 【芦屋17℃倶楽部の催し】

**日** ①8月25日(土)②27日(月)10時～12時 **内** ①ストレッチ②脳げんき会? **人** 市内在住の60歳以上の元気な方 **費** ②200円 **所** &園芦屋17℃倶楽部・山野(☎35-0425※当日は☎35-2500)

## 【芦屋子育て支援講座】

**日** 8月26日(日)10時～11時30分 **所** 市民センター211室(託児あり) **講** 藤本邦子氏 **費** 300円(1世帯) **問** 守倉(☎31-0887)

## 【ジャズとハワイアンフラの午後】

**日** 8月26日(日)14時～ **所** ルナ・ホール **内** クラシックジャズの演奏・ハワイアンフラ **問** 直接会場へ **問** 芦屋大学・栗山(☎23-0661)

## 【市長杯オープンダブルステニス大会】

**日** 9月9日(日)雨天中止 **所** 芦屋公園テニスコート **内** 男子ダブルス・女子ダブルス(①オープンクラス②C級クラス③シニアクラス) **人** ①③各16組②32組 **費** 3,100円 **申** 8月19日(日)までに下記へ **問** 芦屋市テニス協会(☎22-3852)

## 市制施行50周年記念写真集「芦屋のうつりかわり」を頒布

### 写真でみる芦屋の歴史

市制施行50周年(平成2年11月10日)に発行した記念写真集「芦屋のうつりかわり」の在庫本を、行政情報コーナー(市役所北館1階)、ラポルテ市民サービスコーナーで頒布しています。



「芦屋のうつりかわり」  
21.6cm × 30.5cm / 135頁 /  
紙表紙・銀箔押し(ハードカバー)  
頒布額 500円



六麓荘住宅地案内

問い合わせ 広報課 ☎38-2006

# my アングル



## カモの親子 シマヘビに遭遇! 西蔵町・辰野光良

宮川沿いの散歩が、朝夕の日課となっています。宮川は、国道43号から南側に西蔵橋、川原橋、浜打出橋、下宮川橋、汐風橋とありますが、とくに43号から浜打出橋あたりは自然が多く残っています。先日、カメラ片手に散歩していたところ、カモの親子がシマヘビと遭遇している光景を目にしました。宮川は今秋から整備工事が始まるとのこと。自然を多く残して欲しいものです。

# 灘の酒大学

**日** 9月25日～平成20年3月12日(水曜日中心)午後6時30分～8時30分 **内** ①入学式・史学②雑学③科学④酒学⑤栄養学⑥家政学⑦卒業式・神学(1回のみ参加は不可) **募** 集人数 60人 **参** 加費用 全7回分・12,000円(ペア22,000円) **申** 込日 8月17日(金)<必着>までに、往復はがき(1枚につき2人まで)に、参加希望者全員の住所・氏名・年齢(20歳以上)・電話番号を記入し、灘五郷酒蔵組合・城崎(☎078-841-1101 〒658-0046 御影本町6-1-9)、またはEメールで東灘区役所まちづくり推進課・石田(h-suishinka@office.city.kobe.jp)へ

問い合わせ 東灘区役所まちづくり推進課 ☎078-841-4131

## 土中からのメッセージ

### 芦屋考古学再発見 32

## 郷土地名の考古学(7)

### 大字・小字・町名と芦屋の遺跡名称

問い合わせ 生涯学習課 ☎9066

「古墳や遺跡がまらに残ることは良いことですね。」  
「だって、大昔の地名も一緒に後世に伝わりますからね。」  
こんなふうには、市民のみならずから言われることがあります。  
遺跡と古地名が一体のものとして理解されているようです。そこで今回は、市内の地名の変遷と遺跡名称との関係などについて、説明します。  
市域には、かつて芦屋・打出・三条・津知の四つの大字がありました。大字の領域は旧村域を基本としていますので、かなり広いものです。  
明治二十二年四月一日、町村制がしかれ、旧四カ村は合併して「精道村」が誕生。昭和十五年十一月十日には、「村」から「町」にはならず、市制を施行して一気に「芦屋市」が成立します。  
それまで、大字内には小字と呼ばれる興味深い地名が存在し、市内で約二百を数えました。小字がなくなった理由は、昭和十九年一月十日より町名改正が実施され、この小字が廃止されたからです。この時、新町名四十三が生まりました。ただし、剣谷・城山の国有林と奥山の共有山だけは、町名を付すのをやめています。  
さて、遺跡名はできるだけ古い地名に基づいて名付けられています。だからこそ、懐かしく思われるかたが多いためです。  
中には津知遺跡や三条古墳群などのように大字名に基づくもの、打出小槌古墳のように大小の字名を合体させて名付けられたもの、月若遺跡のように現行町名をそのまま付けたものもあり、それぞれにその地名が用いられた歴史が宿っています。旭塚古墳は、それを保存した会社名に由来しています。  
やがては、芦屋の古い地名が遺跡や古墳以外に見当たらなくなる日が訪れるものと思います。スウェーデンなど、国家が法により良好な地名を残す規則を作っていますが、地名の時間的な推移に対する保護方法のひとつです。先住者が、小字の一つ一つに込めた地形や土地利用、社寺への愛着、方位、植物や池・川など自然に寄せた思いと暮らしを大切にしたいものです。